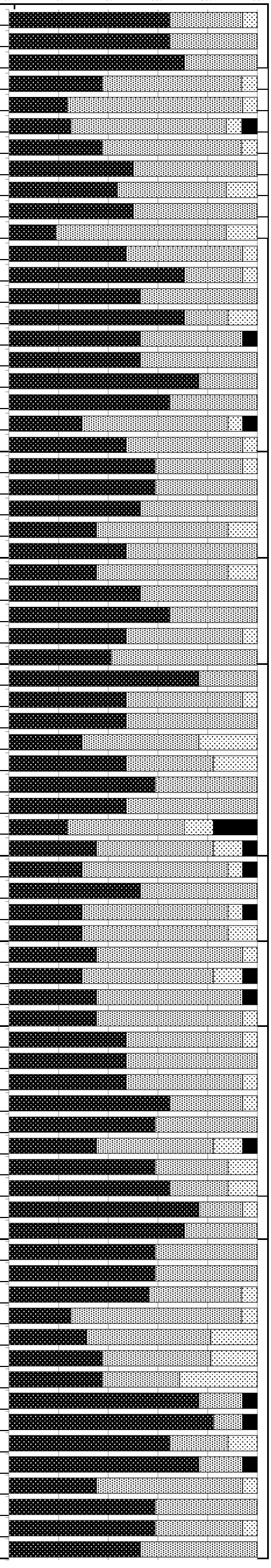
令和6年度　学校評価集計（職員用）

■あてはまる　▨ややあてはまる　▨ややあてはまらない　■あてはまらない

0%　20%　40%　60%　80%　100%

Ⅰ	1 本校の教育活動について、やりがいをもって取り組めている。	1
	2 本校の教育活動には、地域の自然や人材の魅力を生かして行われている。	2
	3 学校は、教育活動全般について、子どもや保護者の願いに応えている。	3
Ⅱ	4 各教科の指導内容について、基礎・基本を明確にし、児童が理解しやすいように授業を工夫している。	4
	5 児童にとってわかりやすい授業ができている。	5
	6 複数指導などきめ細かな指導方法の工夫・改善が図れている。	6
	7 思考力を重視した問題解決的な学習を行っている。	7
	8 児童の実態等を踏まえ、参加体験型の学習を行うなど指導方法の工夫・改善を行っている。	8
	9 グループ学習を行うなど、協働的な学習形態の工夫・改善を行っている。	9
	10 児童の困り感が予期される場面を想定して授業等に取り組んでいる。	10
	11 学習意欲の高い児童に対する学習指導を、個に応じた視点で工夫して行っている。（例：発展的学習への対応など）	11
Ⅲ	12 カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	12
	13 児童の悩みや不安に、親身になって取り組んでいる。	13
	14 児童の名前にさん付けをしたり、目線を下げての声かけをしたりすることをはじめ、温かな人間関係をもとに指導できている。	14
	15 いじめなどの問題が起きた場合、組織的に対応できる体制がつくられている。	15
	16 様々な問題行動の未然防止のために、日頃からの発達支持的生徒指導が図れている。	16
	17 教育相談体制が整備されており、児童は担任以外の教員とも相談することができている。	17
	18 生徒指導において、家庭との緊密な連携が図れている。	18
	19 生徒指導において、関係諸機関との緊密な連携が図れている。	19
	20 児童が将来の進路や生き方について考える機会を多く設けている。	20
	21 児童が生き生きと、学ぶことができる学級づくりに取り組んでいる。	21
Ⅳ	22 学校行事が児童にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	22
	23 児童会活動が自主的に行われるよう、学校全体での支援を行っている。	23
	24 児童が生命の大切さや社会のルールを身につけることができるよう、指導している。	24
	25 道徳教育の目標達成のため、道徳教育と各教科での指導との関連を意図的・計画的に図っている。	25
	26 教育活動において、奉仕等の体験学習やボランティア活動が自然に行われるよう工夫を講じている。	26
Ⅴ	27 人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、全職員で話し合っている。	27
	28 障害者理解を深め、合理的配慮やノーマライゼーションの理念に基づく社会を築く資質を養うことが出来るよう工夫している。	28
	29 男女共同参画社会を目指し、男女平等を念頭に置いた指導を行っている。	29
	30 環境、国際理解、福祉など今日的課題を教育活動に積極的に取り入れている。	30
	31 体罰やセクハラ防止をはじめ、全ての教育活動において、人権尊重の姿勢に基づいた指導や活動がされている。	31
Ⅵ	32 校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている。	32
	33 学校運営に、教職員の意見が反映されている。	33
	34 会議の結果が教育活動や学校運営に生かされている。	34
	35 教職員間の相互理解が十分になされ，信頼関係に基づいて教育活動を行っている。	35
	36 日々の教育活動における問題意識や悩みについて，気軽に語し合えるような職場の人間関係ができている。	36
	37 事故，事件，災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう，役割分担が明確化されている。	37
	38 本校では，子どもの生活の場として，ゆとりと潤いのある教育環境が整備されている。	38
	39 本校では，教職員が勤務時間を意識して働いている。	39
	40 本校では，教職員の教育活動へのモラール(意欲)が高い。	40
Ⅶ	41 施設・設備の拡充に主任等が長期的視点に立って希望やビジョンを持っている。	41
	42 施設・設備について、日常的に点検や管理が行われている。	42
	43 各教科の備品や教材・教具が適正に配置され、十分に活用されている。	43
	44 ICT機器等が授業で活用されている。	44
Ⅷ	45 教育課題の解決のため、校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。	45
	46 学校内で他の教員の授業を見学する機会が設けられている。	46
	47 教員間で授業方法等について検討する機会を積極的に持っている。	47
	48 県総合教育センターや市教委が主催する研修に気軽に参加できる雰囲気・体制がある。	48
Ⅸ	49 公文書の収受・発送・保管に関する管理が適切である。	49
	50 学校から保護者あてに文書を発送するに当たって、校長が決裁するシステムが適切に生かされている。	50
	51 教育活動に必要な情報を積極的に収集し、教職員・児童・保護者へ積極的に伝えている。	51
Ⅹ	52 保護者や地域の人々と接する機会を、チャンスと捉え、意図的・効果的・積極的に設けている。	52
	53 教職員はPTA活動に、明るく前向きに、良さを理解し、参加している。	53
	54 近隣の中学校等との校種間連携の機会を設け、教育活動全般に生かしている。	54
	55 「特別支援学級と通常の学級との交流」や「特別支援学校」との交流の機会を積極的に設けている。	55
	56 来客や電話等の応対が適切である。	56
	57 学校は、教育活動の様子を学校だより・学年だより、ホームページ・連絡メールなどを通して積極的に伝えている。	57
	58 学校は、家庭・地域・行政と連携し、児童に安全意識を高めている。	58
	59 児童は、学校で安心して生活できている。	59
	60 児童は、学校に来るのが楽しそうである。	60
	61 児童は、授業に意欲的に取り組んでいる。	61
	62 児童は、授業をわかりやすいと感じ臨めている。	62
	63 児童は、自分の考えを持ち、それを書いたり説明したりできている。	63
	64 児童は、進んで宿題や家庭学習にきちんと取り組んでいる。	64
	65 児童は、よく読書をしている。	65
	66 児童の服装等、身だしなみの指導をしている。	66
	67 決まりやマナー、規律を身につける指導をしている。	67
	68 清掃・美化についての指導を日常的に行っている。	68
	69 挨拶や返事をきちんとする指導を日常的に行っている。	69
	70 児童は、睡眠・朝食、洗顔、歯磨き等、健康に気を付けて生活している。	70
	71 児童は、運動に親しみ、体力の向上を目指して取り組んでいる。	71
	72 児童は、委員会や係活動をはじめ、自分の役割に対してがんばって取り組んでいる。	72
	73 児童は、太東小やいすみ市に愛着を感じている。	73